

平成29年11月29日

筑後川河川事務所

権限代行による赤谷川応急復旧工事の

「2号土砂止め工（仮設）」の工事に着手します。

権限代行により国が実施している赤谷川（福岡県管理河川）の応急復旧工事において、平成29年11月30日に「2号土砂止め工（仮設）」の工事に着手します。

既に着手している1号土砂止め工（仮設）と合わせ、更なる下流河道の安定化を図ります。2号土砂止め工の概要は下記のとおりです。

【2号土砂止め工の概要】

1. 設置目的

土砂止め工の設置により土砂流出を抑制することによって下流河道の安定化を図ります。

2. 工事箇所

朝倉市杷木星丸地先 <別紙－1参照>

3. 工事規模

高さ約4.5m、長さ約60m、大型コンクリートブロック積み（重さ1個当たり2トンのブロック約950個使用）

<別紙－2参照>

<参考>既に着手している1号土砂止め工の進捗状況について

1. 工事着手：平成29年11月1日

2. 工事箇所：朝倉市杷木星丸地先

3. 進捗状況：土砂止め工の主材料である大型コンクリートブロックを全体で約1,800個設置し完成させる予定のところ、平成29年11月28日現在で948個が設置済み。

4. 進捗率：約53%

《問い合わせ先》

九州地方整備局 筑後川河川事務所

九州北部豪雨災害対策推進室 室長 満崎 晴也

副室長 寺下 進一

代表0942-33-9131 FAX0942-35-0186

■位置図

凡 例

- 流路確保(実施済み)
- 土砂止め工



平成29年9月末時点の流路確保状況

■航空写真



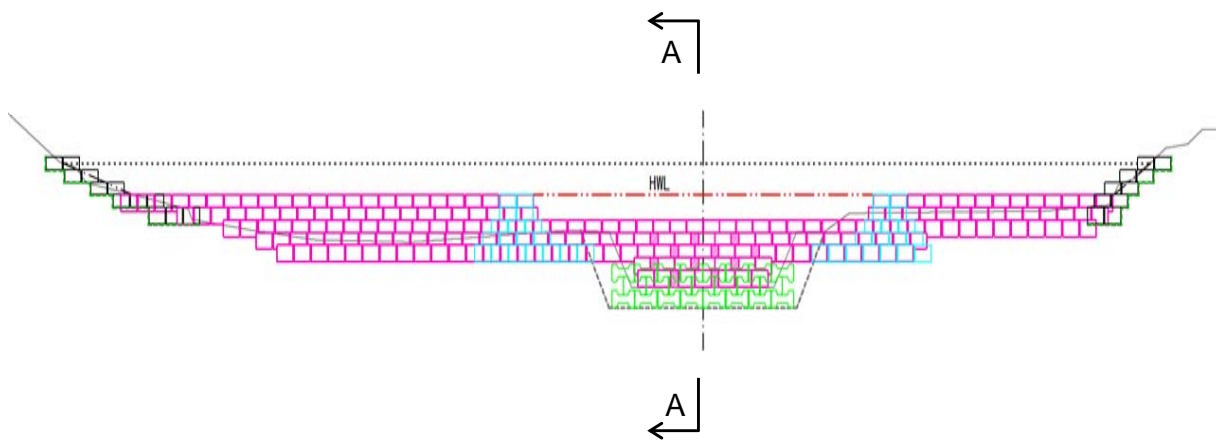
■2号土砂止め工の概要

- 高さ 約4.5m 長さ 約60m
- 土砂捕捉容量
約10,000m³
- 使用するコンクリートブロック2t型
約950個(予定)

■2号土砂止め工の完成イメージ



■2号土砂止め正面図



■A-A断面図

